

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月11日	14:46					東北地方太平洋沖地震発生。原子炉自動スクラム。第3非常態勢を自動発令。	東北地方太平洋沖地震発生。第3非常態勢を自動発令。	東北地方太平洋沖地震発生。第3非常態勢を自動発令。	東北地方太平洋沖地震発生。第3非常態勢を自動発令。
	14:47					主タービン自動停止、非常用ディーゼル発電機自動起動。	原子炉自動スクラム、主タービン自動停止。非常用ディーゼル発電機自動起動。	原子炉自動スクラム、主タービン自動トリップ。	
	14:48							非常用ディーゼル発電機自動起動。	
	14:50						原子炉隔離時冷却系(以下、「RCIC」)手動起動。		
	14:51						RCIC自動停止(原子炉水位高)		
	14:52					非常用復水器(以下、「IC」)自動起動。			
	14:54							原子炉未臨界確認。	
	15:01						原子炉未臨界確認。		
	15:02						RCIC手動起動。		
	15:03						原子炉冷却材温度降下率55°C/hを遵守するために、ICの戻り配管隔離弁(MO-3A,3B)を一旦「全閉」。その後、ICによる原子炉圧力制御開始。		
	15:05							原子炉隔離時冷却系(以下、「RCIC」)手動起動。	
	15:06						非常災害対策本部を本店に設置(地震による被害状況の把握、停電等の復旧)		
	15:25							RCIC自動停止(原子炉水位高)。	
	15:27						津波第一波到達。		
	15:28							RCIC自動停止(原子炉水位高)。	
	15:35						津波第二波到達。		
	15:37						全交流電源喪失。		
	15:38							全交流電源喪失。	全交流電源喪失。
	15:39							RCIC手動起動。	
	15:41							全交流電源喪失。	
	15:42						原子力災害対策特別措置法(以下、「原災法」)第10条第1項の規定に基づく特定事象(全交流電源喪失)が発生したと判断。官庁等に通報。	原子力災害対策特別措置法(以下、「原災法」)第10条第1項の規定に基づく特定事象(全交流電源喪失)が発生したと判断。官庁等に通報。	原子力災害対策特別措置法(以下、「原災法」)第10条第1項の規定に基づく特定事象(全交流電源喪失)が発生したと判断。官庁等に通報。
	15:42						第1次緊急時態勢を発令。緊急時対策本部を設置(非常災害対策本部との合同本部となる)。		
	16:00頃						構内道路の健全性確認を開始。		
	16:00頃						電源設備(外部電源)の健全性確認を開始。		
	16:03							RCIC手動起動。	
	16:10						本店配電部門から全店に高・低圧電源車の確保と移動経路の確認指示。		
	16:36						原子炉水位が確認出来ず、注水状況が不明なため、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(非常用炉心冷却装置注水不能)が発生したと判断。16:45官庁等に通報。	原子炉水位が確認出来ず、注水状況が不明なため、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(非常用炉心冷却装置注水不能)が発生したと判断。16:45官庁等に通報。	
16:36						第2次緊急時態勢を発令。			
16:45						原子炉水位が確認出来たことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(非常用炉心冷却装置注水不能)発生の解除を判断。16:55官庁等に通報。			
16:50頃						全店の高・低圧電源車が福島に向け順次出発。			
16:55						ディーゼル駆動消火ポンプの現場確認を開始。			
17:07						再度、原子炉水位が確認出来なくなったため、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(非常用炉心冷却装置注水不能)が発生したと判断。17:12官庁等に通報。			
17:12						発電所長は、アクセントマネジメント対策として設置した消火系ライン、及び消防車を使用した原子炉への注水方法の検討開始を指示。			
17:30						故障復帰操作により、ディーゼル駆動消火ポンプが自動起動したが、原子炉代替注水ラインが未構成だったため停止(その後、起動しないよう停止状態で保持)。			
18:00頃						電源設備(所内電源)の健全性確認を開始。			
18:18						ICの戻り配管隔離弁(MO-3A)、供給配管隔離弁(MO-2A)の開操作実施。蒸気発生を確認。			
18:25						ICの戻り配管隔離弁(MO-3A)閉操作。			
18:27				二	0:00 付近				2F録画開始
18:35					0:08 付近	原子炉代替注水ライン構成を開始。			
19:00頃					0:33 付近	2,3号機の間にあるゲートを開放。1~4号機への車両の通行ルートを確認。			
19:24					0:57 付近	構内道路の健全性確認の結果を発電所対策本部に報告。			

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月11日	20:47			二1	2:20 付近	中央制御室内の仮設照明が点灯。			
	20:50				2:23 付近	原子炉代替注水ラインが完成したことから、停止状態の保持を解除し、故障復帰操作により、ディーゼル駆動消火ポンプ自動起動(原子炉減圧後に注水可能な状態)。			
	20:50				2:23 付近	福島県が福島第一原子力発電所から半径2kmの住民に避難指示。			
	20:56				2:29 付近	電源設備(外部電源、所内電源)の健全性確認結果を発電所対策本部に報告。			
	21:02				2:35 付近	原子炉水位が不明であり、RCICによる原子炉への注水状況が確認できないため、原子炉水位が有効燃料頂部(以下、「TAF」)に到達する可能性があることを官庁等に連絡。			
	21:13				2:46 付近	TAF到達時間を21:40と評価、官庁等に連絡。			
	21:19				2:52 付近	原子炉水位判明、有効燃料頂部(以下、「TAF」)+200mm。			
	21:23				2:56 付近	内閣総理大臣が福島第一原子力発電所から半径3km圏内の避難、半径3km~10km圏内の屋内退避を指示。			
	21:27				3:00 付近			中央制御室内の仮設照明が点灯。	
	21:30				3:03 付近	ICの戻り配管隔離弁(MO-3A)開操作実施、蒸気発生を確認。			
	21:50				3:23 付近	原子炉水位が判明し、TAF+3400mmにあることを確認したことから、TAF到達まで時間がかかると評価、22:10、官庁等に通報。			
	21:51				3:24 付近	原子炉建屋の放射線量が上昇したことから、原子炉建屋への入域を禁止。			
	22:00頃				3:24 付近	東北電力第一陣、高圧電源車1台の到着を確認。			
	22:10				3:43 付近	原子炉水位がTAF+450mm近辺にあることを官庁等に連絡。			
	23:00				4:33 付近	サーベイの結果として、タービン建屋内での放射線量の上昇(タービン建屋1階北側二重扉前1.2mSv/h、タービン建屋1階南側二重扉前0.5mSv/h)を23:40官庁等に連絡。			
3月12日	0:00			二2	0:00 付近				
	0:06				0:06 付近	ドライウェル(以下、「D/W」)圧力が600kPa absを超えている可能性があり、格納容器ベント(以下、「ベント」)を実施する可能性があることから、準備を進めるよう発電所長指示。			
	0:30				0:30 付近	国による避難住民の避難措置完了確認(双葉町及び大熊町の3km以内避難措置完了確認、1:45に再度確認)。			
	0:49				0:49 付近	D/W圧力が600kPa absを超えている可能性があることから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(格納容器圧力異常上昇)が発生したと判断、0:55官庁等に通報。			
	1:20頃				1:20 付近	ディーゼル駆動消火ポンプが停止していることを確認。			
	1:20頃				1:20 付近	当社の高圧電源車1台の到着を確認。			
	1:30頃				1:30 付近	1号機及び2号機のベントの実施について、内閣総理大臣、経済産業大臣、原子力安全・保安院に申し入れ、了解を得る。			
	1:48				1:48 付近	ディーゼル駆動消火ポンプ停止を確認。			
	2:03				2:03 付近	消防車から消火系ラインの送水口につなぎこむことを検討開始。			
	2:47				2:47 付近	2:30にD/W圧力が840kPa absに到達したことを官庁等に連絡。			
	2:55				2:55 付近	発電所対策本部はRCICが運転していることを確認。			
	3:06				3:06 付近	ベント実施に関するプレス会見実施。			
	3:27				3:27 付近			ディーゼル駆動消火ポンプ(以下、「DDFP」)起動せず。	
	3:33				3:33 付近			ベントを実施した場合の被ばく評価結果を官庁等に連絡。	
	4:00頃				4:00 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水注入開始、1,300リットルを注入完了。			
	4:01				4:01 付近	ベントを実施した場合の被ばく評価結果を官庁等に連絡。			

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月12日	4:20			二二	4:20 付近		RCICの水源切替を開始。		
	4:55				4:55 付近	発電所構内における放射線量が上昇(正門付近 0.069 $\mu$ Sv/h(4:00) $\rightarrow$ 0.59 $\mu$ Sv/h(4:23))したことを確認、官庁等に連絡。			
	5:00				5:00 付近		RCIC水源切替完了。		
	5:14				5:14 付近	発電所構内における放射線量が上昇していること及び、D/W圧力も低下傾向にあることから「外部への放射性物質の漏えい」が発生していると判断、官庁等に連絡。			
	5:44				5:44 付近	内閣総理大臣が福島第一原子力発電所から半径10km圏内の住民に避難指示。			
	5:46				5:46 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水注入再開。			
	5:52				5:52 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水1,000リットルを注入完了。			
	6:00			二三	0:00 付近	-			
	6:30				0:30 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水1,000リットルを注入完了。			
	6:33				0:33 付近	地域の避難状況として、大熊町から都路方面へ移動を検討中であることを確認。			
	6:50				0:50 付近	経済産業大臣より法令に基づくベントの実施命令(手動によるベント)。			
	7:11				1:11 付近	内閣総理大臣が福島第一原子力発電所に到着。			
	7:55				1:55 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水1,000リットルを注入完了。			
	8:03				2:03 付近	ベント操作を9時目標で行うよう発電所長指示。			
	8:04				2:04 付近	内閣総理大臣が福島第一原子力発電所を出発。			
	8:15				2:15 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水1,000リットルを注入完了。			
	8:27				2:27 付近	大熊町の一部が避難できていないとの情報を確認。			
	8:30				2:30 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水1,000リットルを注入完了。			
	8:37				2:37 付近	福島県へ9時頃ベントの開始に向けて準備していることを連絡。避難状況を確認してからベントをすることで調整。			
	9:02				3:02 付近	大熊町(熊地区の一部)の避難が出来ていることを確認。			
	9:04				3:04 付近	ベントの操作を行うため運転員が現場へ出発。			
	9:05				3:05 付近	ベント実施に関するプレス発表。			
	9:15				3:15 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水1,000リットルを注入完了。			
	9:15				3:15 付近	格納容器(以下、「PCV」)ベント弁(MO弁)を手動開。			
	9:32				3:32 付近	圧力抑制室(以下、「S/C」)ベント弁(AO弁)小弁の現場操作を試みるが、高い放射線量のため断念。			
	9:40				3:40 付近	消防車により消火系ラインから原子炉内に淡水15,000リットルを注入完了。			
	9:53				3:53 付近	再度、ベントを実施した場合の被ばく評価結果を官庁等に連絡。			
	10:15頃				4:15 付近	当社及び東北電力が派遣した電源車72台が、福島に到着していることを確認(高圧電源車:福島第一12台、福島第二42台、低圧電源車:福島第一7台、福島第二11台)。			
	10:17				4:17 付近	中央制御室にてS/Cベント弁(AO弁)小弁を開操作。(計装用圧縮空気系の残圧を期待)			
	10:40				4:40 付近	正門及びモニタリングポストNo.8付近の放射線量が上昇していることが確認されたことから、ベントにより放射性物質が放出された可能性が高いと判断。			
	11:13				5:13 付近			DDFP 自動起動。	
	11:15				5:15 付近	放射線量が下がっていることから、ベントが十分効いていない可能性があることを確認。			
	11:36				5:36 付近			DDFP 停止。	
	11:36				5:36 付近			RCIC 自動停止。	
	11:39				5:39 付近	ベント操作のために、原子炉建屋内に入域した当社社員1名の被ばく線量が100mSvを超過(106.30mSv)したことを官庁等に連絡。			
	12:00			二四	0:00 付近	-			
	12:06				0:06 付近	-		DDFP起動、DDFPによる代替S/Cスプレー開始。	

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月12日	12:35			二4	0:35 付近			高圧注水系(以下、「HPCI」)自動起動(原子炉水位低)。	
	14:30				2:30 付近	S/C ベント弁(AO 弁)大弁を動作させるため、14:00頃に仮設の空気圧縮機を設置したところ、D/W 圧力が低下していることを確認し、ベントによる「放射性物質の放出」と判断、15:18 官庁等に連絡。			
	14:53				2:53 付近	消防車による原子炉への淡水注入、約80,000 リットル(累計)を注入完了。			
	14:54				2:54 付近	原子炉への海水注入を実施するよう発電所長指示。ほう酸水注入系の復旧作業を進めており、準備が整い次第、ほう酸水注入系ポンプを起動し、原子炉内へ注入する予定。また、今後準備が整い次第、消火系にて海水を原子炉へ注入する予定であることを官庁等に連絡。			
	15:18				3:18 付近	高圧電源車から2号機P/Cを介して1号機MCCに電源を供給する経路を構成、ほう酸水注入系ポンプ手前まで送電を開始し、高圧電源車の調整が完了。	高圧電源車から2号機P/Cを介して1号機MCCに電源を供給する経路を構成、1号機ほう酸水注入系ポンプ手前まで送電を開始し、高圧電源車の調整が完了。		
	15:30頃				3:30 付近	1号機原子炉建屋で爆発発生。			
	15:36				3:36 付近	モニタリングポストNo.4 付近で500 $\mu$ Sv/h を超える放射線量(1,015 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、官庁等に通報。			
	16:27				4:27 付近	消防車、建屋などの状況の調査に出発。			
	17:20頃				5:20 付近				
	17:30				5:30 付近				
	18:00			二5	0:00 付近			ベントの準備を開始するよう発電所長指示。	
	18:05				0:05 付近	経済産業大臣から法令に基づく命令(注水すること)があったことを本店・発電所間で共有。			
	18:25				0:25 付近	内閣総理大臣が、福島第一原子力発電所から半径20km 圏内の住民に対し避難指示。			
	18:36				0:36 付近	消防車、建屋などの状況調査の結果、現場は散乱している状態で準備していた海水注入のためのホースが損傷、使用不可能であることを確認。			
	19:04				1:04 付近	原子炉内に消火系ラインから消防車による海水注入開始。			
	20:36				2:36 付近			原子炉水位計の電源喪失により原子炉水位が不明となる。	
	20:45				2:45 付近	ほう酸を海水と混ぜて原子炉内へ注入開始。			
	22:59	本1	0:00 付近		4:59 付近				
3月13日	0:00			二6	0:00 付近			本店録画開始	
	0:49	本2	0:00 付近		0:49 付近				
	2:34	本3	0:00 付近		2:34 付近				
	2:42		0:08 付近		2:42 付近			DDFPによる原子炉代替注水への切替のため、HPCI停止。	
	2:45		0:11 付近		2:45 付近			逃がし安全弁(以下、「SRV」)1弁を開操作したが開動作せず。その後、全弁を順次、開操作するも開動作せず。	
	3:05		0:31 付近		3:05 付近			原子炉代替注水ラインの構成が完了したことを中央制御室に連絡。	
	3:51		1:17 付近		3:51 付近			原子炉水位計復旧。	
	4:24	本4	0:00 付近		4:24 付近				
	4:52		0:28 付近		4:52 付近			圧力抑制室(以下、「S/C」)ベント弁(AO 弁)大弁を開操作するも、空気ポンベの充填圧力が0で、閉確認。	
	5:08		0:44 付近		5:08 付近			DDFPによる代替S/Cスプレイ開始(7:43停止)。	
	5:10		0:46 付近		5:10 付近			RCICによる原子炉注水ができなかったため、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(原子炉冷却機能喪失)に該当すると判断、5:58官庁等に通報。	
	5:15		0:51 付近		5:15 付近			ラプチャーディスクを除く、ベントラインの完成に入るよう発電所長指示。	
	5:23		0:59 付近		5:23 付近			S/Cベント弁(AO 弁)大弁を開操作するために、空気ポンベを交換開始。	
	5:50		1:26 付近		5:50 付近			ベント実施に関するプレス発表。	
	6:00		1:36 付近	二7	0:00 付近				

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月13日	6:14	本5	0:00 付近	二7	0:14 付近	-	-	-	-
	6:19		0:05 付近		0:19 付近	-	-	4:15 に有効燃料頂部(以下、「TAFJ」)に到達したものと判断、官庁等に連絡。	-
	7:35		1:21 付近		1:35 付近	-	-	ベントを実施した場合の被ばく評価結果を官庁等に連絡。	-
	7:39		1:25 付近		1:39 付近	-	-	格納容器スプレイを開始、7:56 官庁等に連絡。	-
	7:44	本6	0:00 付近		1:44 付近	-	-	-	-
	8:10		0:26 付近		2:10 付近	-	-	格納容器(以下、「PCVJ」)ベント弁(MO 弁)開。	-
	8:28	本7	0:00 付近		2:28 付近	-	-	-	-
	8:30		0:02 付近		2:30 付近	-	-	高圧電源車を起動し、2号機P/Cへの再送電を試みるも過電流リレーが動作し、送電できず。	-
	8:35		0:07 付近		2:35 付近	-	-	-	格納容器(以下、「PCVJ」)ベント弁(MO 弁)開。
	8:41		0:13 付近		2:41 付近	-	-	-	S/Cベント弁(AO 弁)大弁開により、ラプチャーディスクを除く、ベントライン構成完了。8:46 官庁等に連絡。
	8:56		0:28 付近	2:56 付近	-	-	モニタリングポストNo.4 付近で500 $\mu$ Sv/h を超える放射線量(882 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、9:01官庁等に通報。	-	
	8:57	本8	0:00 付近	2:57 付近	-	-	-	-	
	9:08頃		0:11 付近	3:08 付近	-	-	-	逃がし安全弁による原子炉圧力の急速減圧を実施。今後、消火系ラインによる原子炉内への注水を開始することを9:20 官庁等に連絡。	
	9:25		0:28 付近	3:25 付近	-	-	-	原子炉内に消火系ラインから消防車による淡水注入開始(ほう酸入り)。	
	9:36		0:39 付近	3:36 付近	-	-	-	ベント操作により、9時20分頃よりドライウェル(以下、「D/WJ」)圧力が低下していることを確認。また、消火系ラインによる原子炉内への注水を開始したことを官庁等に連絡。	
	9:57	本9	0:00 付近	3:57 付近	-	-	-	-	
	10:15		0:18 付近	4:15 付近	-	-	-	ベントを実施するよう発電所長指示。	
	10:30		0:33 付近	4:30 付近	-	-	-	海水注入を視野に入れて動くとの発電所長指示。	
	10:57	本10	0:00 付近	4:57 付近	-	-	-	-	
	11:00		0:03 付近	5:00 付近	-	-	-	ラプチャーディスクを除く、ベントライン構成完了。	
	11:17		0:20 付近	5:17 付近	-	-	-	S/C ベント弁(AO 弁)大弁の閉確認。(作動用空気ポンペ圧低下のため)	
	11:20		0:23 付近	5:20 付近	-	-	-	ベント実施に関するプレス発表。	
	11:57	本11	0:00 付近	5:57 付近	-	-	-	-	
	12:00		0:03 付近	二8 0:00 付近	-	-	-	-	
	12:05		0:08 付近	0:05 付近	-	-	-	-	
	12:20		0:23 付近	0:20 付近	-	-	-	海水を使用する準備を進めるよう発電所長指示。	
	12:30		0:33 付近	0:30 付近	-	-	-	淡水注入終了。 S/C ベント弁(AO 弁)大弁開。(作動用空気ポンペ交換)	
12:57	本12	0:00 付近	0:57 付近	-	-	-	-		
13:10		0:13 付近	1:10 付近	-	-	-	バッテリーを逃がし安全弁(以下、「SRVJ」)制御盤に繋ぎ込み、操作スイッチで開操作出来る状態を構成。		
13:12		0:15 付近	1:12 付近	-	-	-	原子炉内に消火系ラインから消防車による海水注入開始。		
13:57	本13	0:00 付近	1:57 付近	-	-	-	-		
14:15		0:18 付近	2:15 付近	-	-	-	モニタリングポストNo.4 付近で500 $\mu$ Sv/h を超える放射線量(905 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、14:23官庁等に通報。		
14:20		0:23 付近	2:20 付近	-	-	-	-		
14:31		0:34 付近	2:31 付近	-	-	-	高圧電源車から4号機P/Cへ送電を開始。 原子炉建屋二重扉北側で300mSv/h以上、南側100mSv/hとの測定結果が報告される。		
14:45		0:48 付近	2:45 付近	-	-	-	原子炉建屋二重扉付近で放射線量が上昇し、1号機と同様に原子炉建屋内に水素が溜まっている可能性があり、爆発の危険性が高まったことから、現場退避開始(17:00頃、作業再開)。		
14:57	本14	0:00 付近	2:57 付近	-	-	-	-		
15:18		0:21 付近	3:18 付近	-	-	-	ベントを実施した場合の被ばく評価結果を官庁等へ連絡。		

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月13日	15:57	本15	0:00 付近	二8	3:57 付近	-	-	-	-
	16:57	本16	0:00 付近		4:57 付近	-	-	-	-
	17:47	本17	0:00 付近		5:47 付近	-	-	-	-
	18:00		0:13 付近	二9	0:00 付近	-	-	-	-
	18:37	本18	0:00 付近		0:37 付近	-	-	-	-
	19:27	本19	0:00 付近		1:27 付近	-	-	-	-
	20:17	本20	0:00 付近		2:17 付近	-	-	-	-
	21:07	本21	0:00 付近		3:07 付近	-	-	-	-
	21:57	本22	0:00 付近		3:57 付近	-	-	-	-
	22:47	本23	0:00 付近		4:47 付近	-	-	-	-
	23:37	本24	0:00 付近		5:37 付近	-	-	-	-
	3月14日	0:00		0:23 付近	二10	0:00 付近	-	-	-
0:29		本25	0:00 付近		0:29 付近	-	-	-	-
0:57		本26	0:00 付近		0:57 付近	-	-	-	-
1:10			0:13 付近		1:10 付近	-	-	-	原子炉へ供給している海水が残り少なくなったことから、逆洗弁ピット内への海水補給のために消防車を停止。
1:52		本27	0:00 付近		1:52 付近	-	-	-	-
2:20			0:28 付近		2:20 付近	-	-	-	正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(751 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、4:24官庁等に通報。
2:40			0:48 付近		2:40 付近	-	-	-	モニタリングポストNo.2付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(650 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、5:37官庁等に通報。
2:47		本28	0:00 付近		2:47 付近	-	-	-	-
3:20			0:33 付近		3:20 付近	-	-	-	消防車による海水注入再開。
3:42		本29	0:00 付近		3:42 付近	-	-	-	-
4:00			0:18 付近		4:00 付近	-	-	-	モニタリングポストNo.2付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(820 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、8:00官庁等に通報。
4:08			0:26 付近		4:08 付近	-	-	-	4号機使用済燃料プール温度が84°Cであることを確認。
4:37		本30	0:00 付近		4:37 付近	-	-	-	-
5:20			0:43 付近		5:20 付近	-	-	-	S/Cベント弁(AO弁)小弁開操作開始。
5:32		本31	0:00 付近		5:32 付近	-	-	-	-
6:00			0:28 付近	二11	0:00 付近	-	-	-	-
6:10			0:38 付近		0:10 付近	-	-	-	S/Cベント弁(AO弁)小弁の開確認。
6:27		本32	0:00 付近		0:27 付近	-	-	-	-
6:30頃			0:03 付近		0:30 付近	-	-	-	D/W圧力が上昇し、爆発の可能性が懸念されたことから現場退避開始(7:35頃、作業再開)。
7:22		本33	0:00 付近		1:22 付近	-	-	-	-
8:17		本34	0:00 付近		2:17 付近	-	-	-	-
8:57		本35	0:00 付近		2:57 付近	-	-	-	-
9:05			0:08 付近		3:05 付近	-	-	-	物揚場から逆洗弁ピットへの海水の補給を開始。
9:12			0:15 付近		3:12 付近	-	-	-	モニタリングポストNo.3付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(518.7 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、9:34官庁等に通報。
9:52		本36	0:00 付近		3:52 付近	-	-	-	-
10:30頃			0:38 付近		4:30 付近	-	-	-	使用済燃料プールの状況確認に向かったが原子炉建屋内の放射線量が高く入域を断念。
10:47	本37	0:00 付近		4:47 付近	-	-	-	-	
11:01		0:14 付近		5:01 付近	-	-	-	3号機原子炉建屋で爆発発生。	
11:42	本38	0:00 付近		5:42 付近	-	-	-	-	
12:00		0:18 付近	二12	0:00 付近	-	-	-	-	
12:37	本39	0:00 付近		0:37 付近	-	-	-	-	
12:50		0:13 付近		0:50 付近	-	-	-	圧力抑制室(以下、「S/C」)ベント弁(AO弁)大弁の電磁弁励磁用回路が外れ閉を確認。	
13:05		0:28 付近		1:05 付近	-	-	-	注水ラインは、消防車及びホースが破損して使用不可能であったことから、消防車を含む海水注入のライン構成を再開。	
13:18		0:41 付近		1:18 付近	-	-	-	原子炉水位が低下傾向であったことから、直ちに原子炉への海水注入操作などの準備作業を進めることを官庁等に連絡。	

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月14日	13:25	本39	0:48 付近	二12	1:25 付近		原子炉の水位が低下していることからRCICの機能が喪失している可能性があり、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(原子炉冷却機能喪失)が発生したと判断、13:38 官庁等に通報。		
	13:32	本40	0:00 付近		1:32 付近	-	-	-	-
	14:27	本41	0:00 付近		2:27 付近	-	-	-	-
	15:22	本42	0:00 付近		3:22 付近	-	-	-	-
	15:28		0:06 付近		3:28 付近	-	-	-	-
	15:30頃		0:08 付近		3:30 付近		TAF到達時間を16:30と評価、官庁等に連絡。		
	16:17	本43	0:00 付近		4:17 付近	-	原子炉への海水注入を行うため消防車を起動。	爆発により、消防車やホースが損傷し、海水注入が停止していたため、消防車とホースを入れ替えて物揚場から原子炉へ注入する新しいラインを構築し、海水注入を再開。	
	16:34		0:17 付近		4:34 付近	-	原子炉減圧操作を開始するとともに、消火系ラインから海水注入を開始することを官庁等に連絡。		
	16:57	本44	0:00 付近		4:57 付近	-	-	-	-
	17:17		0:20 付近		5:17 付近	-	原子炉水位がTAFに到達、17:25 官庁等に連絡。		
	17:52	本45	0:00 付近		5:52 付近	-	-	-	-
	18:00		0:08 付近	二13	0:00 付近	-	-	-	-
	18:02		0:10 付近		0:02 付近	-	原子炉減圧開始(原子炉圧力5.4MPa→19:03 0.63MPa)。		
	18:22		0:30 付近		0:22 付近	-	原子炉水位がTAF-3,700mmに到達し、燃料全体が露出したものと判断、19:32 官庁等に連絡。		
	18:47	本46	0:00 付近		0:47 付近	-	原子炉への海水注入のための消防車が燃料切れで停止していることを確認。		
	19:20		0:33 付近		1:20 付近	-	撤退問題(小森常務取締役基準)		
	19:42	本47	0:00 付近		1:28 付近	-	撤退問題(高橋フェロー発話)		
			0:41 付近		1:42 付近	-	撤退問題(高橋フェロー発話)		
			0:12 付近		1:54 付近	-	撤退問題(清水社長、高橋フェロー発話)		
	19:54		0:12 付近		1:54 付近	-	原子炉内に消火系ラインから消防車(19:54,19:57に各1台起動)による海水注入開始。		
		0:33 付近		2:15 付近	-	-			
20:37	本48	0:00 付近		2:37 付近	-	-			
21:00頃		0:23 付近		3:00 付近	-	S/C ベント弁(AO弁)小弁開操作。ラプチャーディスクを除く、ベントライン構成完了。			
21:20		0:43 付近		3:20 付近	-	SRVを2弁開し、原子炉水位が回復してきたことを確認、21:34 官庁等に連絡(21:30現在、原子炉水位TAF-3,000mm)。			
21:32	本49	0:00 付近		3:32 付近	-	-			
21:35		0:03 付近		3:35 付近	-	正門付近で500μSv/hを超える放射線量(760μSv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、22:35 官庁等に通報。			
22:27	本50	0:00 付近		4:27 付近	-	-			
22:50		0:23 付近		4:50 付近	-	ドライウェル(以下、「D/W」)圧力が最高使用圧力427kPa[gage]を超えたことから、原災法第15条第1項の規定に基づく特定事象(格納容器圧力異常上昇)が発生したと判断、23:39 官庁等に通報。			
23:22	本51	0:00 付近		5:22 付近	-	-			
23:35		0:13 付近		5:35 付近	-	S/C側の圧力がラプチャーディスク作動圧よりも低く、D/W側の圧力が上昇していることから、D/Wベント弁小弁の開によりベントを実施する方針を決定。			
3月15日	0:00		0:38 付近	二14	0:00 付近	-	-	-	-
	0:01		0:39 付近		0:01 付近	-	D/Wベント弁(AO弁)小弁開操作、数分後に閉であることを確認。		
	0:06		0:44 付近		0:06 付近	-	本店録画中断		
	3:00				3:00 付近	-	D/W圧力が設計上の最高使用圧力を超えたことから、減圧操作および原子炉内への注水操作を試みているが、まだ減圧しきれていない状況であることを4:17 官庁等に連絡。		
	5:35				5:35 付近	-	福島原子力発電所事故対策統合本部設置。		
					5:36 付近	-	官前総理来訪		

「TV会議録画映像」の録画内容

※実際の時間とwmvの時間は、若干の誤差があることをご了承下さい。

		本店映像 (音声あり)		2F映像 (音声なし)		福島第一原子力発電所における地震発生以降の主な時系列			
		No.	wmv上の時間 [時:分]	No.	wmv上の時間 [時:分]	1号機	2号機	3号機	4号機
3月15日	6:00			二15	0:00 付近	-	-	-	-
	6:14頃				0:14 付近		大きな衝撃音と振動が発生。S/C 圧力の指示値が ダウンスケールとなる。	大きな衝撃音と振動が発生。中央制御室では4号側 の天井が揺れる。	大きな衝撃音と振動が発生。中央制御室では4号側 の天井が揺れる。
	6:50				0:50 付近		正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(583.7 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づき特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、7:00 官庁等に通報。	正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(583.7 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づき特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、7:00 官庁等に通報。	正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(583.7 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づき特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、7:00 官庁等に通報。
	6:55				0:55 付近				4号機原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
	7:00				1:00 付近	監視、作業に必要な要員を除き、福島第二へ一時退避することを官庁等に連絡。	監視、作業に必要な要員を除き、福島第二へ一時退避することを官庁等に連絡。	監視、作業に必要な要員を除き、福島第二へ一時退避することを官庁等に連絡。	4号機原子炉建屋5階屋根付近にて損傷を発見したことを官庁等に連絡。
	7:55				1:55 付近			原子炉建屋上部に蒸気が漂っているのを確認、官庁等に連絡。	4号機の原子炉建屋5階屋根付近にて損傷を発見したことを官庁等に連絡。
	8:11				2:11 付近	4号機の原子炉建屋に損傷を確認、正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(807 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づき特定事象(火災爆発等による放射性物質異常放出)が発生したと判断、8:36 官庁等に通報。			
	8:25				2:25 付近	原子炉建屋5階付近壁より白い煙(湯気らしきもの)があがっていることを確認、9:18 官庁等に連絡。			
	9:38				3:38 付近				4号機の原子炉建屋3階北西コーナー付近より火災が発生していることを確認、9:56 官庁等に連絡。
	10:30				4:30 付近	経済産業大臣より法令に基づく命令(極力早期に原子炉への注水を行うこと。必要に応じ、ドライウエルのベントを行うこと。)			経済産業大臣より法令に基づく命令(使用済燃料プールへの消火に努めること、併せて再臨界の防止に努めること)。その後、時間は不明であるが、使用済燃料プールへの注水を可及的速やかに行うこと、との命令が出される。
	11:00				5:00 付近	内閣総理大臣が、福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内の住民に対し屋内退避指示。			
	11:00頃				5:00 付近				4号機の原子炉建屋の火災について、当社社員が現場確認をしたところ、自然に火が消えていることを確認、11:45 官庁等に連絡。
	12:00			二16	0:00 付近	-	-	-	-
	16:00				4:00 付近		正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(531.6 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づき特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、16:22 官庁等に通報。		
	18:00			二17	0:00 付近				
	23:05				5:05 付近		正門付近で500 $\mu$ Sv/hを超える放射線量(4,548 $\mu$ Sv/h)を計測したことから、原災法第15条第1項の規定に基づき特定事象(敷地境界放射線量異常上昇)が発生したと判断、23:20 官庁等に通報。		
3月16日	0:02				6:02 付近	-	-	-	-

以上